



2020年5月21日

各 位

会 社 名 三光産業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 石井 正和
(コード番号 7922)
執 行 役 員
問 合 せ 先 経営企画室 阿部 雅弘
室 長
(電話番号 03-3403-8134)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期連結決算（2019年4月1日～2020年3月31日）におきまして、特別損失を計上するとともに2019年5月13日に公表しました2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）について、修正することとしました。

また、2020年3月期個別決算（2019年4月1日～2020年3月31日）におきましても、特別損失を計上するとともに2019年6月27日に公表いたしました2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）について修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の追加計上について

2020年3月期第2四半期連結会計期間（2019年7月1日～2019年9月30日）において、当社の連結子会社である燦光電子（深圳）有限公司で発生した工場閉鎖に伴う費用259百万円を、特別損失に計上いたしましたが、2020年3月期連結及び個別決算（2019年4月1日～2020年3月31日）において以下のとおり特別損失を計上することといたしました。

（1）減損損失（連結）

連結子会社サンコウサンギョウ（バンコク）において、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなる為、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額89百万円を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

（2）投資有価証券評価損（連結、個別）

当社が保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて時価が著しく下落し、その回復可能性があるが認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損35百万円を計上することといたしました。

(3) 関係会社株式評価損(個別)

関係会社株式のうち、実質価値が著しく低下したことにより、その回復可能性があるとは認められないものについて減損処理することとし、連結子会社光華産業有限公司において 453 百万円、サンコウサンギョウ(ベトナム)において 22 百万円、計 475 百万円を関係会社株式評価損に計上することといたしました。

(4) 貸倒引当金繰入額(個別)

当社連結子会社サンコウサンギョウ(バンコク)の現状の事業状況を踏まえ、同社への関係会社貸付金に対して、131 百万円を貸倒引当金繰入額に計上することといたしました。

2. 2020年3月期通期 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,000	百万円 △30	百万円 △10	百万円 △230	百万円 △37.13
今回修正予想(B)	10,624	△24	△8	△393	△63.55
増減額(B-A)	△375	5	1	△163	—
増減率(%)	△3.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	11,196	△182	△115	△238	△38.46

3. 2020年3月期通期 個別業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,072	百万円 131	百万円 151	百万円 121	百万円 19.53
今回修正予想(B)	9,987	115	119	△531	△85.78
増減額(B-A)	△84	△15	△31	△652	—
増減率(%)	△0.8	△11.9	△20.9	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	9,072	△5	57	35	5.72

3. 修正の主な理由

当連結会計期間の業績につきましては、第3四半期以降第4四半期において回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に拡大し、国内子会社における中国地域での生産減の影響により売上高は下回ったものの、中国深圳工場操業停止に伴うコスト削減が奏功し、営業利益、経常利益ともに前回予想のとおり推移いたしました。しかしながら、上記開示のとおり特別損失を計上したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を下回る見込みとなりました。

また、個別業績においては、当初計画どおり第3四半期以降第4四半期に順調に業績が回復いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による生産及び納品遅延等により、売上高、営業利益、経

常利益ともに前回発表値を下回る結果となりました。また、上記開示のとおり、関係会社株式評価損並びに貸倒引当金繰入額を計上したことにより、当期利益についても前回予想を下回る見込みとなったため、通期連結及び個別業績予想を修正いたします。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上